

アウトドア倶楽部「防災キャンプ入門編」

○開催日：令和5年10月29日（日） 9：30～14：30

○参加人数：12人

10月29日（日）

9:00 受付
9:30 はじめの会
9:40 説明
10:10 吸水・テント設営
11:15 食器作り
12:00 昼食作り
12:45 自由時間
14:00 片付け
14:20 おわりの会
14:30 解散

★ 内容 ★

今回は、“身近にあるものを使った防災キャンプ”をテーマに、空き缶炊飯やブルーシートテント、竹の食器作りなどに挑戦してもらいました。空き缶炊飯では、あえて軽量カップは使わず、缶を凹ませながら目視で水の量を調節し、枯れ枝や杉の葉などを使った火おこしからご飯を炊きました。ブルーシートテントでは、ハトメの無い所を、石と紐で作ったフックで設営しました。その他にも、コーヒーをペットボトルやキッチンペーパーなどでドリップしたり、新聞紙でスリッパを作ったりと、いろんなことを体験しスキルが身に付いたのではないのでしょうか。

いつ訪れるかわからない災害に備え、日頃からも楽しみながら防災キャンプをやっていけるといいですね。

～ 活動の様子 ～

【 はじめの会・説明 】

はじめの挨拶や活動の確認をしてから、空き缶炊飯のやり方やブルーシートテントの立て方の説明がありました。その後、お米の吸水から皆さんの活動が始まっていきました。今回の炊飯は、500mlのアルミ缶を使っただけの挑戦です。



【 ブルーシートテント設営 】

ブルーシート1枚で、床部分（フロア）や出入り口も閉じることができる（フルクローズ）テント設営に挑戦しました。ポールに掛けるときには、石とロープを使ってフックを作り対処しました。



【 竹の食器・昼食 】

竹から器やスプーンなどの食器を作り、昼食を盛り付けて食べました。火おこしでは、近くに落ちている枝や杉の葉などを使い、ご飯を炊き上げたり缶詰を温めたりしました。



【 自由時間・おわりの会 】

コーヒー豆を袋に入れて砕き、ペットボトルとキッチンペーパーでドリップして飲みました。他にも、ポップコーンはアルミホイルで包んで焼いたり、新聞スリッパを作ったりしました。おわりの会では、ペットボトルろ過装置の実験や、お土産のアルミブランケットを受け取りました。



★参加者の声★

- 「一人でやる達成感がありました。」
- 「いろいろとわかりやすく教えていただきありがとうございました。」
- 「内容が盛りだくさんでとても楽しめました。」
- 「テント張りは大変でしたが面白かったです。」
- 「ごはんが思ったよりうまく炊けて美味しかったです。」

など